

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壱
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史
淡河恵津世
西山 佳宏

▶本号の特集は、「放射線再照射はどこまで可能か?—適応と実際—」です。放射線治療後の照射野内再発に対する再照射は、従来、正常組織の耐容線量や重篤な有害事象への懸念から、限られた症例に慎重に適用される治療でした。しかし近年、画像誘導放射線治療、強度変調放射線治療、定位放射線治療、粒子線治療などの高精度放射線治療技術が進歩し、さらに BNCT や小線源治療といった治療手段も加わることで、再照射の可能性は大きく広がっています。

▶本特集では、脳腫瘍、頭頸部がん、脊椎転移、肝細胞癌、直腸癌、婦人科がん、前立腺癌と、多岐にわたる疾患・病態を取り上げました。加えて、BNCT、陽子線や炭素線治療、小線源治療、スペースターなど、再照射という困難な臨床課題に対する様々なアプローチについてもご紹介いただきました。

▶再照射にはいまだ明確な「安全域」が存在するわけではありません。初回照射からの期間、既照射線量と線量分布、正常組織の回復、腫瘍の進展範囲、患者さんの予後や全身状態など、多くの因子を総合して個別に判断する必要があり、放射線腫瘍医にとって、再照射の選択は非常に悩ましいものとなっています。本特集が、再照射を検討する際の実践的な指針となるとともに、その限界と可能性をあらためて考える契機となれば幸いです。

▶また、診療や症例の投稿論文、中川先生の放射線治療談話会記録「日本のがんと放射線治療」もとても読み応えのある内容です。本誌に寄稿、投稿してくださった先生方にあらためて御礼申し上げます。

中村 和正

「臨床放射線」第71巻第5号

2026年9月10日発行

隔月(1, 3, 5, 7, 9, 11月)10日発行

定価 4,180 円(本体 3,800 円+税 10%)

年間購読料金

定価 25,080 円(本体 22,800 円+税 10%)

[年間6冊の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 前田 達也

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること(コピー、スキャン、デジタルデータ化など)は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・本誌を AI(人工知能)分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。